

## 騒音対策に新展開

近年、あらゆる場所で騒音対策の必要性が叫ばれています。土木工事・建築工事等においてもこの流れは大きくなるばかりです。これからは工事着工前の十分な騒音対策の検討が求められています。そこで、あらゆる騒音の予測・検討・対策・施工までトータルに対応することが可能となりました。

騒音対策			
騒音の種類	予測・検討	検証	主たる対策
土木工事 ・トンネル発破騒音 ・すり置き場での騒音 ・重機・工事車両等の騒音 ・仮設備の騒音 ・その他の騒音	3Dサウンド マッピングシステム	・ノイズメイク騒音体験 ・予測検討した騒音を 実際に聞く事が可能 ・地元説明・見学者等への広報	・防音壁 ・防音ドーム ・防音扉 (Model-30-40-50) ・HAP (複合型吸収式防音パネル) ・その他
一般騒音 ・機械の騒音 ・車両(トラック・乗用車) による騒音 ・通過車両の騒音 ・その他の騒音			

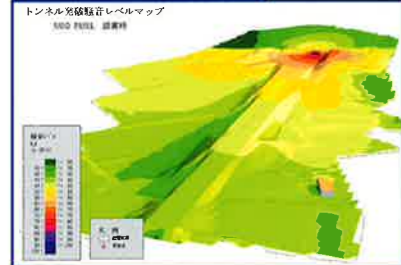
### 3Dサウンドマッピングシステム

(予測・検討)

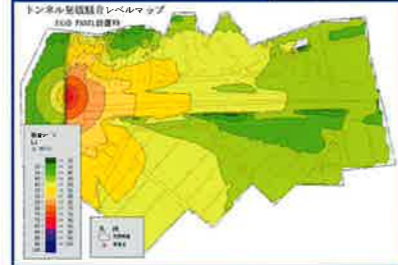
建設工事における騒音環境を予測し、騒音分布を2次元・3次元にてわかりやすく表示します。

- 主な用途  
特徴**
- 1 日本音響学会による建設工事騒音の予測モデル"ASJ CN-Model2002"に準拠し、あらゆる建設工事現場の騒音対策検討に対応
  - 2 3次元でも表示可能のため、音の広がりやあらゆる角度から把握することが可能
  - 3 任意の縦断面でも音の分布の表示が可能
  - 4 工事着手前の地元説明や、発注者との協議における資料として効果を発揮

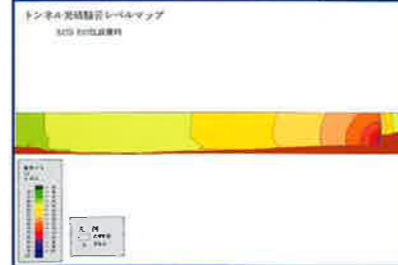
3次元サウンドマップ



2次元サウンドマップ



任意縦断のサウンドマップ



### ノイズメイク

(検証)

トンネル発破音から道路騒音・工場騒音まで、予測される音をできるだけ忠実に再現し、騒音対策前及び対策後の比較をこのシステムで聞くことができます。  
(18Hz ~ 20,000Hz . 最大135 dB)

- 主な用途  
特徴**
- 1 特に普段聞きなれていないトンネル発破音等について、事前に地域住民に知っていただき、対策前及び対策後の音を実感してもらい、理解を深めてもらう
  - 2 環境対策を事前にアピールする
  - 3 地元説明・見学者等への広報



### 防音扉Model-30・40・50

Model-50



### 防音扉Model-30・40・50(効果に応じた選択)

トンネルの発破掘削騒音・低周波音対策に威力を発揮!

- 特徴**
- ・Model-50(コンクリートタイプ)
  - 1 部材のブロック化で工期を短縮(組立7時間)
  - 2 コンクリート構造で面密度を向上し遮音性能がアップ
  - 3 Model-50については、防音扉から切羽まで10mで施工可能

- 特徴**
- ・Model-40は砂充填式パネル2層式
  - 1 発破騒音の強烈な空気振動を、砂の運動エネルギーに変換させ吸収効果を高めている
  - 2 防音扉から切羽までの距離15mで施工可能
  - 3 構造を2層構造としていることから、空気振動の流出が極力少ない

内外音圧レベル差(dB)(※地形・地質・気象条件により内外音圧レベル差の値に変動があります。)

商品名	防音扉の種類	構造	内外音圧レベル差(dB)		総重量
			低周波音	騒音	
Model-30	コンクリート充填1層式防音扉	ユニット式	20	26	総重量 約40t
Model-40	砂充填2層式防音扉	ユニット式	30	37	総重量 約130t
Model-50	コンクリート充填2層式防音扉	ユニット式	35~40	40~43	総重量 約160t